



SOLIDCOM M1

ユーザーマニュアル

V1.1.0

HOLLYVIEW
Powered by Hollyland

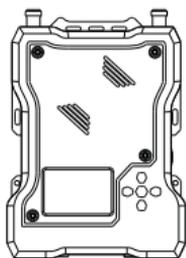
はじめに

このたびは、Hollyland 全二重ワイヤレスインカムシステムをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に必ずユーザーマニュアルをよくお読みください。よくお読みいただくことで使用体験が一層改善されます。

■ 主な特徴

- 通信事業者グレードの音声品質、有効見通し距離最大 450 メートル
- 1.9GHz 周波数、各地域の周波数設定に対応
- 外部無指向性グラスファイバーアンテナと内蔵パネルアンテナの自動切り替え
- 全二重無線通信
- 最大ベルトパック 8 台同時通話対応。ステーション設定、アプリ設定、ウェブサーバー設定のアップグレードに対応
- ベルトパック 1 台につき 3 グループ同時通話に対応
- 2/4 線式オーディオシステムとのカスケード接続に対応
- POE カスケード接続または NP-F 型バッテリーによる電源供給が可能
- ベルトパック用リチウムバッテリー内蔵 (6 時間以上使用可能)
- 持ち運びに便利な収納型充電台
- 音量を 10 段階に設定可能様々な環境のニーズに対応可能

同梱物リスト



①



②



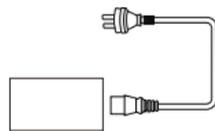
③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪



⑫

同梱物リスト

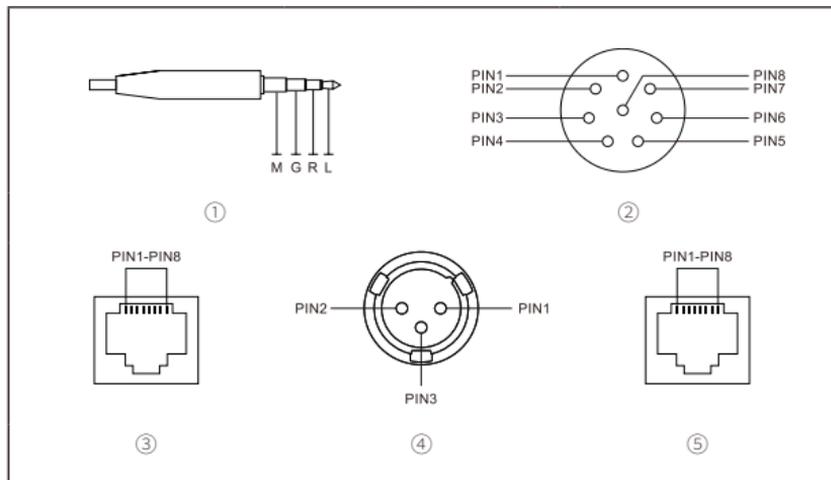
■ ベルトパック 8 個入りセット

| | |
|------------------------------|-----|
| ① ステーション | x1 |
| ② ベルトパック | x8 |
| ③ 充電台 | x1 |
| ④ 高機能無指向性アンテナ | x2 |
| ⑤ LEMO 片耳ヘッドセット | x8 |
| ⑥ POE アダプター | x1 |
| ⑦ RJ45 ~ XLR 変換ケーブル (5m) | x1 |
| ⑧ USB Type-A ~ Type-C 変換ケーブル | x1 |
| ⑨ 4 ピン XLR アダプター | x1 |
| ⑩ ベルトパック用バッテリー | x16 |
| ⑪ 3/8 インチ取り付けアクセサリ | x1 |
| ⑫ 取扱説明書 | x1 |

■ ベルトパック 4 個入りセット

| | |
|------------------------------|----|
| ① ステーション | x1 |
| ② ベルトパック | x4 |
| ③ 充電台 | x1 |
| ④ 高機能無指向性アンテナ | x2 |
| ⑤ LEMO 片耳ヘッドセット | x4 |
| ⑥ POE アダプター | x1 |
| ⑦ RJ45 ~ XLR 変換ケーブル (5m) | x1 |
| ⑧ USB Type-A ~ Type-C 変換ケーブル | x1 |
| ⑨ 4 ピン XLR アダプター | x1 |
| ⑩ ベルトパック用バッテリー | x8 |
| ⑪ 3/8 インチ取り付けアクセサリ | x1 |
| ⑫ 取扱説明書 | x1 |

* 正確な数量は、製品によって異なる場合があります。正確な数量は実際の製品をご覧ください。



① 3.5mm ヘッドセットインターフェース

インターフェース定義: MGRL

マイクインピーダンス: 600Ω

スピーカーインピーダンス: 32Ω

② LEMO ヘッドセットインターフェース

ピン 1: GND

ピン 2: GND

ピン 3: SPK -

ピン 4: SPK +

ピン 5: MIC +

ピン 6: MIC -

ピン 7: NULL

ピン 8: LED

③ 4線式インターフェース

入力インピーダンス: 10K Ω

ピン 1: NULL

ピン 2: NULL

ピン 3: AUDIO OUT+

ピン 4: AUDIO IN+

ピン 5: AUDIO IN-

ピン 6: AUDIO OUT-

ピン 7: GND

ピン 8: GND

④ 2線式インターフェース

ピン 1: GND

ピン 2: POWER

ピン 3: AUDIO

⑤ POE/PWR インターフェース

ピン 1: -POWER

ピン 2: -POWER

ピン 3: +POWER

ピン 4: +POWER

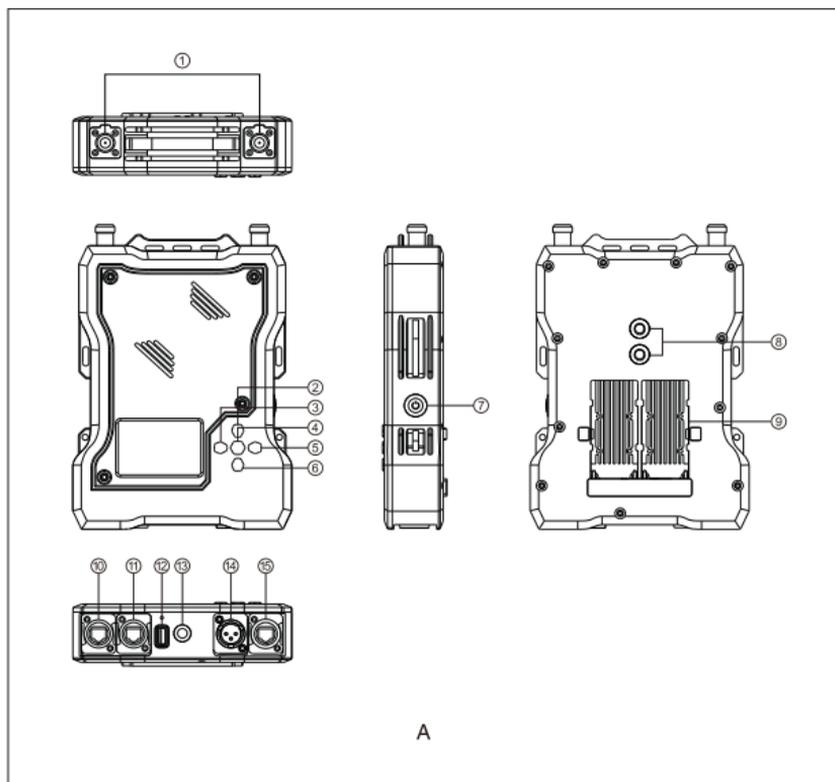
ピン 5: +POWER

ピン 6: +POWER

ピン 7: -POWER

ピン 8: -POWER

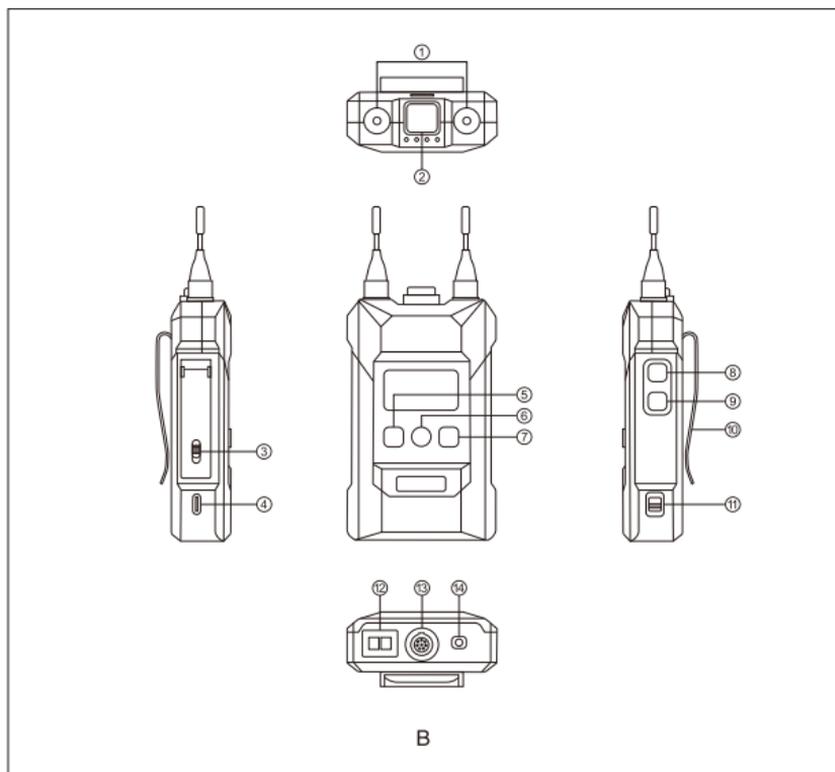
製品インターフェース



A ステーション

- ① アンテナポート
- ② 上キー
- ③ 左キー
- ④ メニューキー / 確定キー (長押しでメニュー / 普通に押して選択)
- ⑤ 右キー
- ⑥ 下キー
- ⑦ 電源ボタン
- ⑧ 3/8 インチネジ穴
- ⑨ NP-F バッテリー用インターフェース
- ⑩ 電源インターフェース
- ⑪ 4 線式オーディオ入出力インターフェース (RJ45 インターフェース)
- ⑫ USB インターフェース
- ⑬ 3/8 インチネジ穴
- ⑭ 2 線式オーディオ入出力インターフェース
- ⑮ POE インターフェース

製品インターフェース

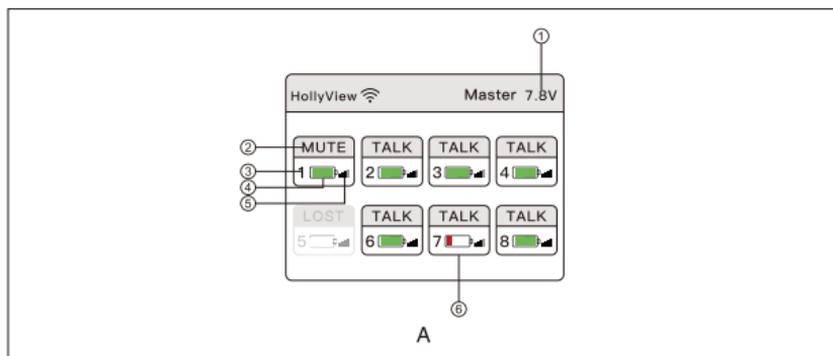


製品インターフェース

B ベルトパック

- ① アンテナ
- ② ミュート / 通話切り替えキー。下を押すと通話が有効になり、上を押すとミュートが有効になる
- ③ バッテリー収納部のつまみ
- ④ USB Type-C ポート
- ⑤ 左キー /A グループキー (ベルトパックがグループに含まれていない場合、インジケータランプは点灯しません。ベルトパックがグループ A に含まれているが通話ができない状態の場合はインジケータランプが白で点灯します。ベルトパックがグループ A に含まれていて通話ができる状態の場合はインジケータランプがオレンジで点灯します)
- ⑥ メニュー /B グループキー (長押しで「メニュー」に入る / ベルトパックがグループに含まれていない場合、インジケータランプは点灯しません。ベルトパックがグループ B に含まれているが通話ができない状態の場合はインジケータランプが白で点灯します。ベルトパックがグループ B に含まれていて通話ができる状態の場合はインジケータランプがオレンジで点灯します)
- ⑦ 右キー /C グループキー (ベルトパックがグループに含まれていない場合、インジケータランプは点灯しません。ベルトパックがグループ C に含まれているが通話ができない状態の場合はインジケータランプが白で点灯します。ベルトパックがグループ C に含まれていて通話ができる状態の場合はインジケータランプがオレンジで点灯します)
- ⑧ 音量 + ボタン
- ⑨ 音量 - ボタン
- ⑩ バッククリップ
- ⑪ 電源つまみ
- ⑫ 充電接点
- ⑬ LEMO ヘッドセットインターフェース
- ⑭ 3.5mm ヘッドセットインターフェース

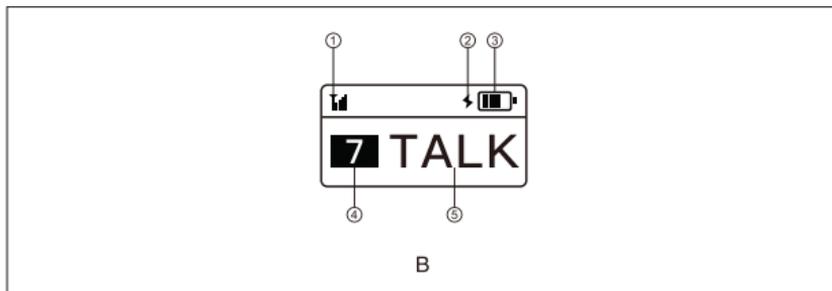
ディスプレイ表示の紹介



A ステーションメインディスプレイ表示の紹介

- ① 現在のステーションバッテリーの電圧
- ② 現在のベルトパックの状態
TALK: ベルトパックでの通話が可能。
MUTE: 自分の音が聞こえない状態 (相手側の音を聞くことは可能)。
LOST: ベルトパックとステーションの接続が切れた状態。
LINK: ベルトパックがステーションに接続を試みている状態。
- ③ ベルトパックの番号
- ④ 現在のベルトパックのバッテリー残量
- ⑤ 現在のベルトパックの信号強度
- ⑥ ベルトパックのバッテリー残量 (低)

ディスプレイ表示の紹介



B ベルトパックメインディスプレイ

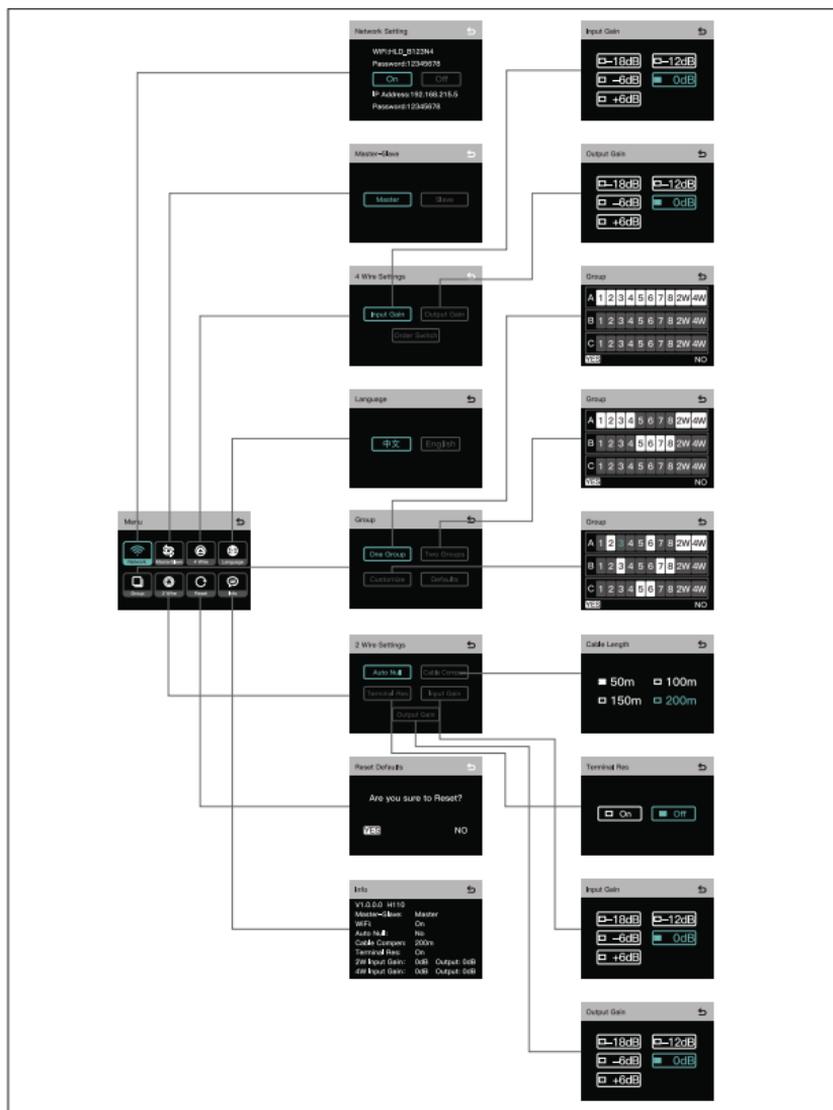
- ① 現在の信号強度
- ② 充電の有無
- ③ 現在のバッテリー残量
- ④ ベルトパックの番号
- ⑤ 現在の状態

TALK: 通話可能な状態

MUTE: 自分の音が聞こえない状態 (相手側の音を聞くことは可能)

LOST: ステーションとの接続が切れた状態

LINK: ステーションに接続を試みている状態

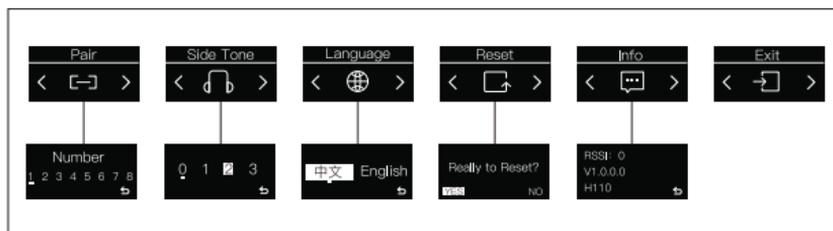


■ ステーションメニューの紹介

メニュー / 確定キーを 3 秒間長押しするとこのメニューに入ります。メニュー機能の説明は以下を参照してください。

- ① 「Network」を選択すると、WiFi のオン / オフの切り替え、WiFi パスワードと IP アドレスの確認ができます。
- ② 「Master and Slave」を選択すると、ステーションを親機もしくは子機として設定できます。
 - 2.1 ステーション 1 台だけの場合、ステーションは「親機」として設定する必要があります。ステーションが 2 台以上カスケード接続されている場合、ステーションは親機もしくは子機として設定することができます。
 - 2.2 ステーションが親機として設定されている場合、ベルトバック番号には自動的に 1 ~ 8 番が割り振られます。子機として設定されている場合、ベルトバック番号には自動的に 9 ~ 16 番が割り振られます。
 - 2.3 この機能は、イーサネットインターフェースでステーションを 2 台カスケード接続した場合のみ使用可能です。ステーションを 1 台のみで使用する場合、ステーションを「親機」として設定する必要があります。
- ③ 「4 Wire」を選択すると、4 線式オーディオ設定に入ります。
 - 3.1 4 線式オーディオシステムの入出力ゲインを調整するためのメニューに入ります。
 - 3.2 線のシークエンスを入れ替えます。
- ④ 「Language」を選択すると、「中国語」と「英語」の切り替えができます。
- ⑤ 「Group」を選択すると、グループ設定に入ります。
 - 5.1 グループが 1 つの場合：ベルトバック、2 線式オーディオ機器、4 線式オーディオ機器をすべてグループ A にままとめると、ベルトバックのグループ A キーのインジケータランプが点灯します
 - 5.2 グループが 2 つの場合：1 ~ 4 番のベルトバック、2 線式オーディオ機器および 4 線式オーディオ機器をグループ A にままとめ、5 ~ 8 番のベルトバックをグループ B にままとめると、ベルトバックに対応グループのインジケータランプが点灯します。
 - 5.3 カスタマイズする場合：方向キーと確認キーで、ベルトバック、2 線式オーディオ機器、4 線式オーディオ機器をグループにままとめることができます。設定後、ベルトバックの対応インジケータランプが点灯します。
 - 5.4 デフォルト状態：2 線式、4 線式のすべてのベルトバックをグループ A にままとめることができます。するとグループ A のインジケータランプが点灯します。

- ⑥ 「2 Wire」を選択すると、2 線式設定に入ります。
- 6.1.2 線式機器の接続後、対応するステーションの線長補正と端末抵抗値を設定します。2 線式機器の電源をオンにします。このとき、2 線式機器のマイクは、2 線式接続で他の音声を伝送しないようにするため、電源が接続を切る必要があります。そうしない場合、オートヌルが影響を受けてしまう場合があります。「Auto Null」を選択すると、ステーションが 2 線式機器のオートヌル動作を完了します。
 - 6.2 「Cable Compen」を選択して、同じ平行 2 線式インターフェースのバスの長さを確認します。バスの長さに対応する補正選択を選んでください。
 - 6.3 「Terminal Res」を選択して、2 線式インターフェースで接続された 2 線式機器に端末抵抗があるか確認します。2 線式機器に端末抵抗がある場合、端末抵抗をオフに切り替える必要があります。2 線式機器に端末抵抗がない場合、端末抵抗をオンに切り替える必要があります。
 - 6.4 「Input Gain」を選択すると、入力ゲインの調整メニューに入ります。対応するレベルを選択して入力信号に対応する値を調整します。
 - 6.5 「Output Gain」を選択すると出力ゲインの調整メニューに入ります。対応するレベルを選択して出力信号に対応する値を調整します。
- ⑦ 「Reset」を選択すると、ステーションで設定したすべての情報がデフォルトの状態に戻ります。
- ⑧ 「Info」を選択するとステーションの情報を確認できます。



■ ベルトパックメニューの紹介

メニューキーを3秒間長押しするとこのメニューに入ります。各機能の説明は以下を参照してください。

- ① **USB-A ~ Type-C 変換ケーブル**を使用してベルトパックとステーションを接続してください。「Pair」を選択すると、ベルトパックとステーションのペアリングができます。

1 ~ 8 の間で使用できる番号を選択してください。ペアリング中は両方の機器の画面に「Pairing...」と表示されます。画面に「Pairing Successful」と表示されたらペアリング完了です。ベルトパックとステーションを接続していたケーブルを外してください。

- ② 「SideTone」を選択すると、サイドトーンの出力量を設定できます。

レベル0にするとサイドトーンがオフになります。レベル1~3の順にサイドトーンの出力量が上がります。

- ③ 「Language」を選択すると、「中国語」と「英語」の切り替えができます。

- ④ 「Reset」を選択すると、ベルトパックで設定したすべての情報がデフォルトの状態に戻ります。

- ⑤ 「Info」を選択するとベルトパックの情報を確認できます。

- ⑥ 「Exit」を選択すると、メインメニューを終了できます。

- ⑦ **A/B/C ボタン**を二回押すとベルトパックをグループへまとめたり、グループを解除することができます。

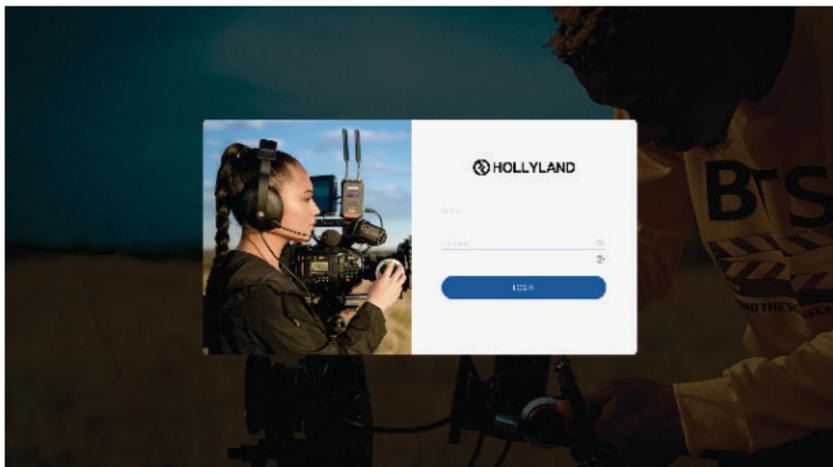
■ ステーションの設定方法 (Web サーバー経由)

ステーションの電源をオンにします。POE または PWR インターフェースをイーサネットケーブルでコンピュータのイーサネットインターフェースに接続します。コンピュータのネットワークセグメントがステーションと一致するように設定し、コンピュータのブラウザを開いて以下のアドレスを入力します (ステーションのネットワークメニューで対応するアドレスを確認します)。

親機 : 192.168.218.10

子機 : 192.168.218.11

ログインして Web ページに入ります (アカウント名: admin デフォルトパスワード: 12345678)。すると、ステーションのアップグレード、ベルトパックのグループ分け、ベルトパックのステータス調整などが可能になります。



■ ステーションの設定方法(アプリ経由)

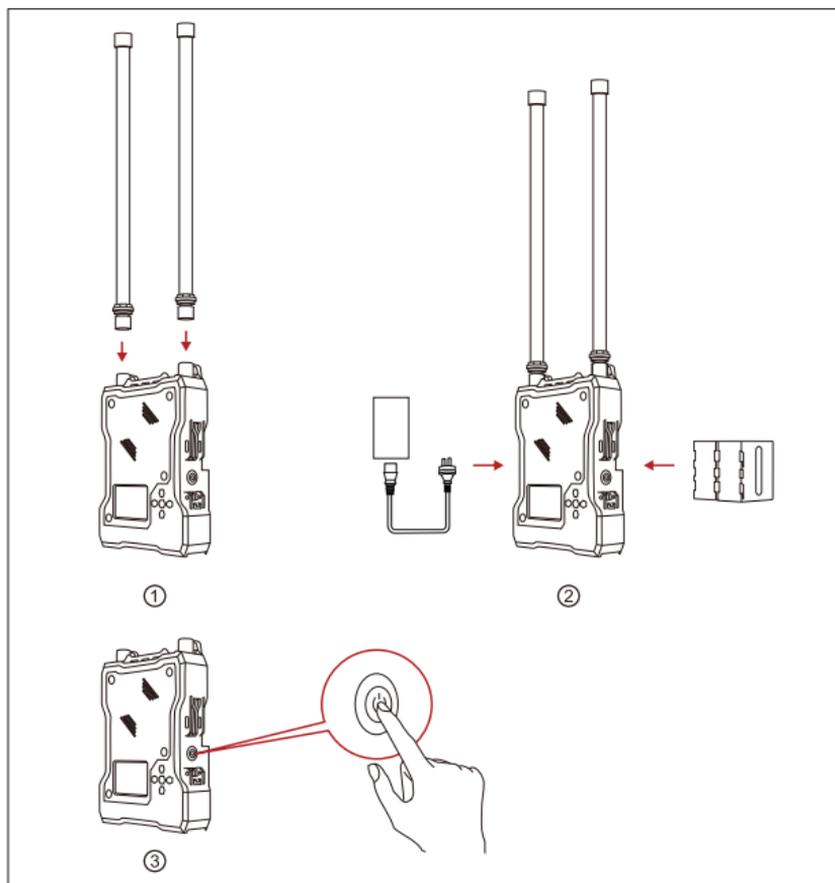
1. 「Solidcom」アプリをダウンロードします



2. 接続方法:

ステーションのWiFiをオンにします。スマートフォンで「HLDJ」で始まるWiFiを検索し、接続します。Solidcomアプリを開き、接続します。(WiFiをオンにし、該当するWiFiの名前とパスワードをステーションの「Network Menu」で確認してください)

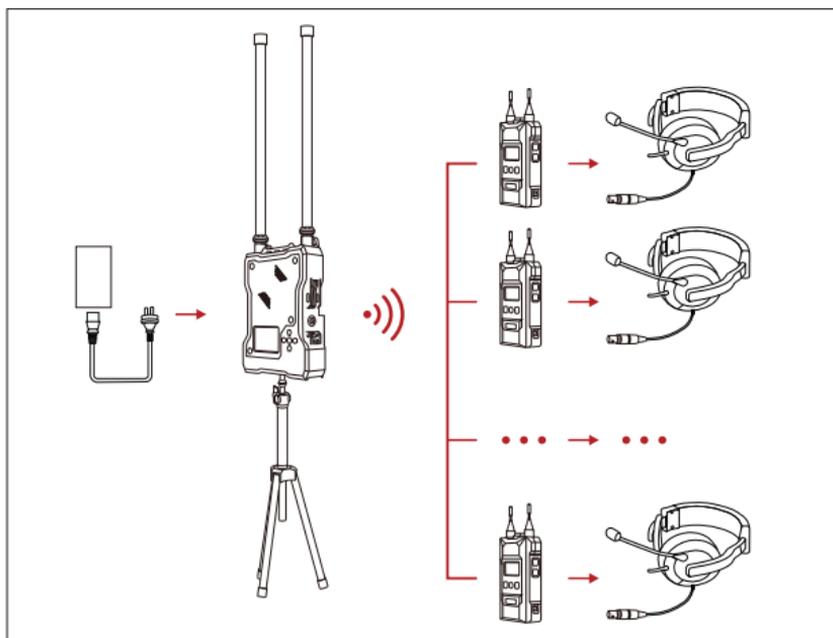
製品のインストール



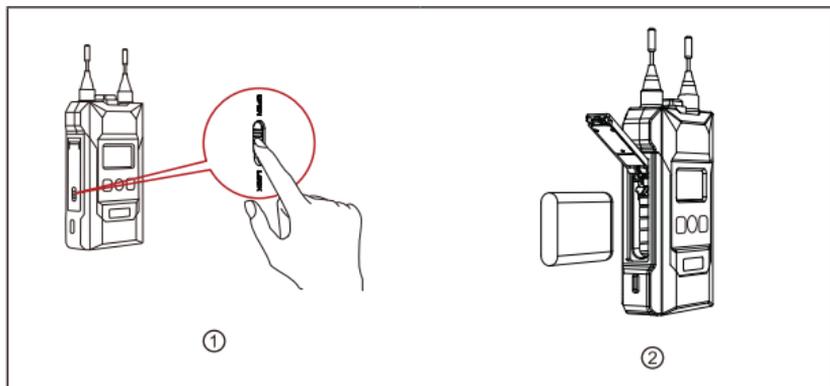
① ステーションの取り付け

1. アンテナを図のように取り付けます。
2. 電源アダプターを接続するか、NP-F バッテリーを取り付けます。
3. 電源ボタンを押して、電源をオンにしてください。

製品のインストール



製品のインストール



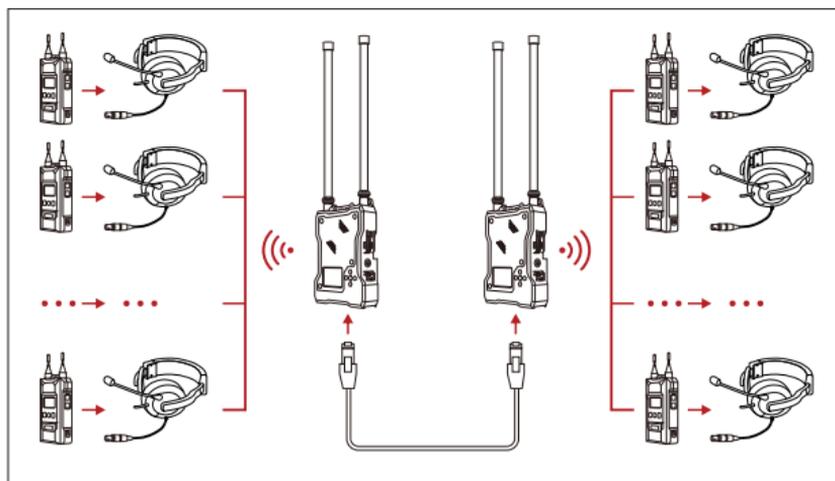
② ベルトパックの取り付け方

1. バッテリー収納部を開き、バッテリーを正しい向きで入れます。
2. 電源つまみを切り替えて電源をオンにします。
3. ベルトパックの表示が「LOST」から「TALK」に変化すると通話が可能になります。上のボタンを押すと「MUTE」に切り替わります。自分の音が聞こえない状態（相手側の音を聞くことは可能）。ミュートを解除するにはもう一度上のボタンを押します。
4. ベルトパックは、3.5mm と LEMO の両ヘッドセットに対応しています。
5. 2 線式、もしくは 4 線式オーディオインターフェースでその他の通話システムに接続する際は、ステーションのメニューで入力ゲインと出力ゲインを調整して通話システム全体のゲインを均一にすることができます。
6. 一定期間操作しないとバッテリーがスリープ状態になります最初の 3 回の使用では、ベルトパックを充分充電してから放電することをお勧めします。

③ 再ペアリングの方法

誤った操作やその他の理由でベルトパックに割り当てた番号が消えてしまう場合があります。ベルトパックとステーションを USB・Type-C ケーブルで接続します。ベルトパックの「Pair」メニューに進み、任意の番号を選択してペアリングします。両方の機器の画面に「Pairing...」と表示されます。「Pairing Successful」と画面に表示されたら、ステーションとベルトパックを接続しているケーブルを外します。

製品のインストール



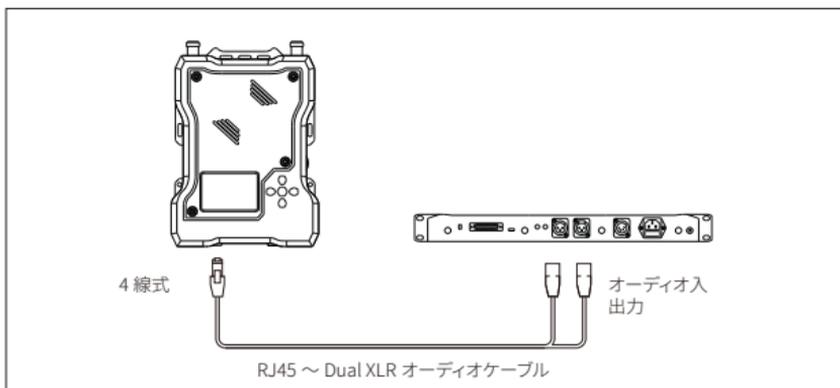
④ ステーションを 2 台カスケード接続する方法

1. 付属の専用イーサネットケーブルでステーション 2 台をカスケード接続し、最大 16 台のベルトパックを増設することが可能です。カスケード接続を実行する場合、親機のうち 1 台は子機として設定する必要があります。単独で使用する際に親機を子機と設定すると、ベルトパックは通話ができなくなるため、親機として再設定する必要があります。
2. カスケード接続を実行する場合、子機のベルトパック番号は自動的に 9 ~ 16 となります。
3. 親機が電源として POE アダプターを使用している際、POE アダプターは親機のステーションの電源インターフェースに接続しなければなりません。カスケード接続を実行する場合、イーサネットケーブルは親機の POE インターフェースと子機の電源インターフェースに接続しなければなりません。この場合、バッテリーを使用せずに子機に電源が供給できます。これは、POE アダプターを使用せず、NP-F バッテリーを電源として使用する場合に可能となります。

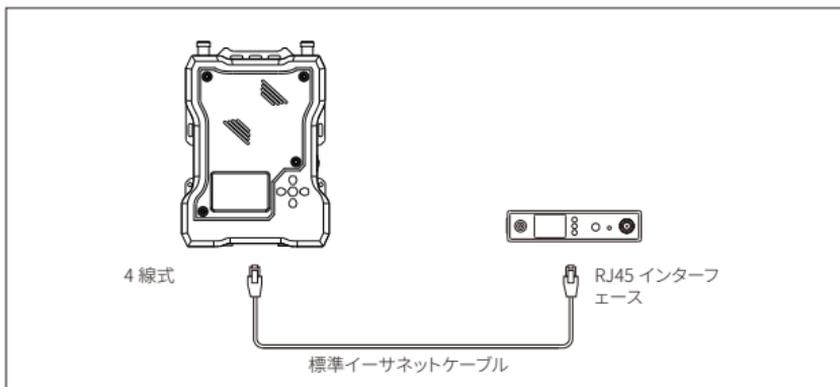
製品のインストール

⑤ 他の有線またはワイヤレスインターカムシステムにカスケード接続する

■ SYSCOM 450T にカスケード接続する場合。

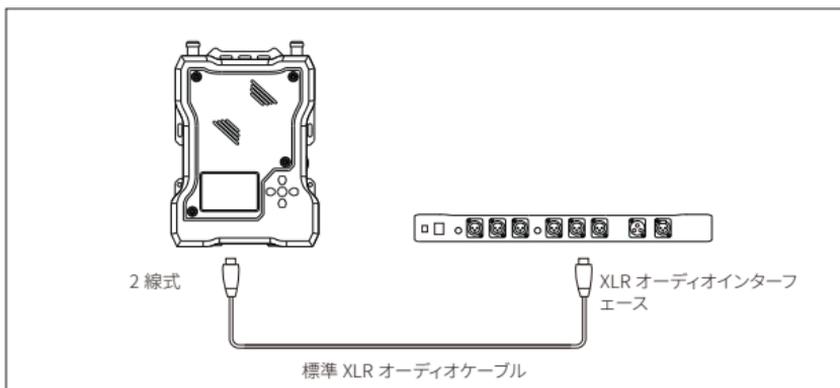


■ MARS T1000 にカスケード接続する場合。



製品のインストール

■ その他の有線通話システムにカスケード接続する場合



パラメーター

| | ステーション | ベルトパック |
|----------|--|--|
| インターフェース | POE インターフェース (RJ45) 電源インターフェース (RJ45) 4 線式オーディオインターフェース USB インターフェース 2 線式オーディオインターフェース | 3.5mm ヘッドセットインターフェース LEMO ヘッドセットインターフェース USB Type-C インターフェース |
| 電源 | POE 電源 NP-F バッテリー | 1500mAh リチウムポリマーバッテリー |
| 周波数特性 | 200Hz ~ 7kHz | 200Hz ~ 7kHz |
| SN 比 | >50dB | >50dB |
| 歪率 | <1% | <1% |
| 利用範囲 | 有効見通し 450 メートル | 有効見通し 450 メートル |
| 周波数帯域 | 1.9GHz | 1.9GHz |
| 調節モード | GFSK | GFSK |
| 送信電力 | 最大 21dBm | 最大 21dBm |
| 受信感度 | ≤ -93dBm | ≤ -93dBm |
| 周波数帯域幅 | 1.728MHz | 1.728MHz |
| 電力消費 | <3W | <0.6W |
| 寸法 | (L*W*H) : 255x180.4x48.5mm | (L*W*H) : 105x65x22.4mm |
| 重量 | 約 1560g | 約 200g |
| 動作温度 | 0 ~ +45°C (動作状態) -20 ~ +60°C (保存状態) | 0 ~ +45°C (動作状態) -20 ~ +60°C (保存状態) |

■ 安全上の注意事項

バッテリーの過熱や破裂を防ぐため、ベルトパックを加熱機器、調理機器、高圧容器などの付属品や内部に置かないでください(電子レンジ、電磁調理器、電気オープン、電気ヒーター、圧力鍋、湯沸かし器、ガスコンロなど)。充電器、データケーブル、バッテリーは、必ず適切な純製品を使用してください感電火災破裂などの危険がありますので純正品以外の充電器、データケーブル、バッテリーは使用しないでください。

サポート

製品の使用中に問題が発生した場合、またはヘルプが必要な場合は、以下へご連絡頂けると、テクニカルサポートを受けることができます。

 Hollyland User Group

 HollylandTech

 HollylandTech

 HollylandTech

 support@hollyland-tech.com

 www.hollyland-tech.com



-  Hollyland User Group
-  HollylandTech
-  HollylandTech
-  HollylandTech
-  support@hollyland-tech.com
-  www.hollyland-tech.com

Shenzhen Hollyland Technology Co., Ltd.

8F, 5D Building, Skyworth Innovation Valley, Tangtou, Shiyan, Baoan District Shenzhen, China.